

群馬県多野郡上野村における大型菌類の調査

群馬県立自然史博物館 篠原克実

I.はじめに

上野村の菌類相はこれまで報告されていない。本調査では菌界の担子菌類と子囊菌類に属し、肉眼で十分に識別可能な大きさの子実体を形成する種類（大型菌類）を調査対象とし、上野村の菌類相の基礎的な情報を収集することを目的とする。

II.調査場所・調査方法・調査日と主な採集菌類

【調査地】

本調査では整備されている登山道および登山道周辺を調査することとした。大まかに村域を東西南北の4領域に分け、上野村村内の傾向が把握できるようにした。

- 地点 A 御巢鷹山旧登山道
- 地点 B 御荷鉾スーパー林道
- 地点 C まほ一ばの森
- 地点 D 北沢溪谷登山道
- 地点 E 笠丸山登山道
- 地点 F 野栗沢登山道
- 地点 G 諏訪山登山道

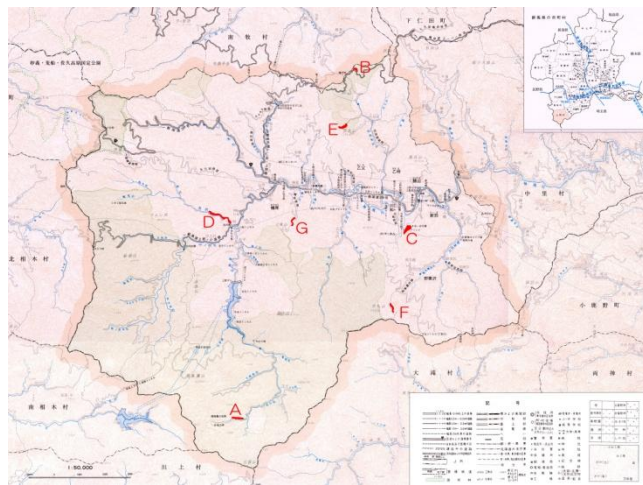


図 調査地点

【調査方法】

群馬県林業試験場きのこ係の協力を得て、常時2名以上（最大で4名）の体制で行った。登山道沿いが中心ではあるが、比較的緩斜面の林内は細かく歩いて調査し、子実体の確認を行った。子実体の同定は、現地にて行うことを主とし、顕微鏡的観察が必要な子実体については博物館にて検鏡し同定作業を行った。

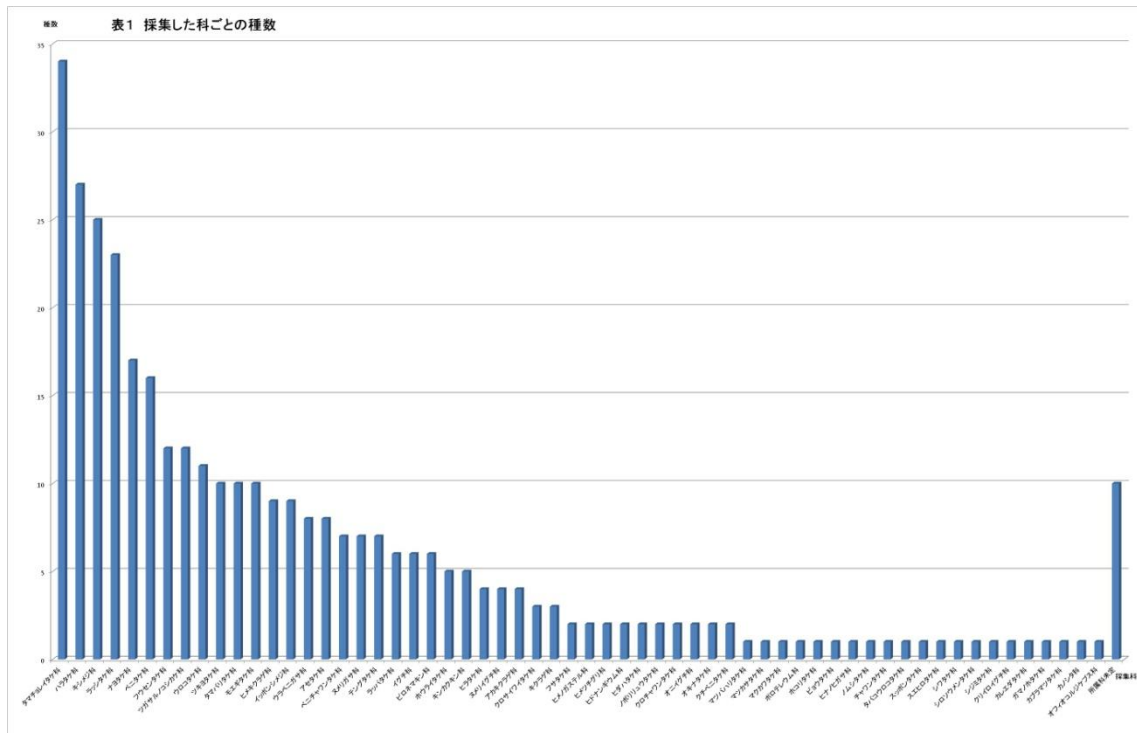
【調査日と主な採集菌類】

- 第1回 御巢鷹山旧登山道（2011.07.27） 31種（延べ40種）採集
アカキツネガサ、アシグロタケ、アマタケ、アラゲカワラタケなど
- 第2回 御荷鉾スーパー林道（2011.08.17） 18種（延べ24種）採集
アカヤマドリ、ウスヒラタケ、オオゴムタケ、カミウロコタケなど
- 第3回 まほ一ばの森（2011.09.14） 51種（延べ62種）採集
アラゲホコリタケ、イタチタケ、ウラベニホテイシメジ、オニイグチなど
- 第4回 北沢溪谷登山道（2011.10.12） 27種（延べ37種）採集
アカウスバタケ、エノキタケ、オニナラタケ、クロゲナラタケなど
- 第5回 笠丸山登山道（2012.05.23） 14種（延べ23種）採集
サカヅキキクラゲ、チャウロコタケ、サカヅキキクラゲなど
- 第6回 まほ一ばの森（2012.06.27） 16種（延べ17種）採集
オオホウライタケ、ハチノスタケ、ダイダイガサ、ウチワタケなど

- 第7回 北沢溪谷登山道(2011.07.25) 27種(延べ29種)採集
 ニカワハリタケ、ツチナメコ、ドクベニタケ、テングツルタケなど
- 第8回 野栗沢登山道(2012.08.22) 22種(延べ25種)採集
 クリイロイグチ、チチタケ、ニカワホウキタケ、シロカイメンタケなど
- 第9回 諏訪山登山道(2012.09.26) 49種(延べ60種)採集
 カバイロツルタケ、クサウラベニタケ、フジウスタケ、ドクツルタケなど
- 第10回 まほーばの森(2012.10.17) 24種(延べ26種)採集
 キシメジ、コガネタケ、シモフリシメジ、ハナイグチなど
- 第11回 野栗沢登山道(2012.11.09) 14種(延べ16種)採集
 アラゲコベニチャワソタケ、ホオベニタケ、チャツムタケなど

III.調査結果

延べ 359 種の大型菌類を採集した.科ごとの種数の分布を示した下表からはタマチョレイタケ科が 34 種,ハラタケ科が 27 種,キシメジ科が 25 種,ラッシタケ科が 23 種であり,この4科で全体のおよそ 30%を占める.タマチョレイタケ科の主な種は,カワラタケで,この種は子実体が硬質で胞子を放出した後も子実体は原型をとどめているため最も多く採集できたと思われる.ハラタケ科の主な種は,ホコリタケ,オニタケ,ザラエノハラタケなどであり,中でも最も多く採集されたのはホコリタケであった.キシメジ科の主な種は,ムラサキシメジ,カヤタケなどであった.キシメジ科に属する種は他の科に比べ多く,種の採集数は1つでもあっても科としてまとめると多くなっている.ラッシタケ科の主な種はサクラタケ,クヌギタケなどであり, サクラタケは12の標本が採集され 359 種の大型菌類の中で最も多かった.採集の多かったこれら大型菌類は,木材や落葉などを分解する菌類であり,腐生菌の発生が多く見られる傾向がある。



キーワード：大型菌類、菌類、キノコ